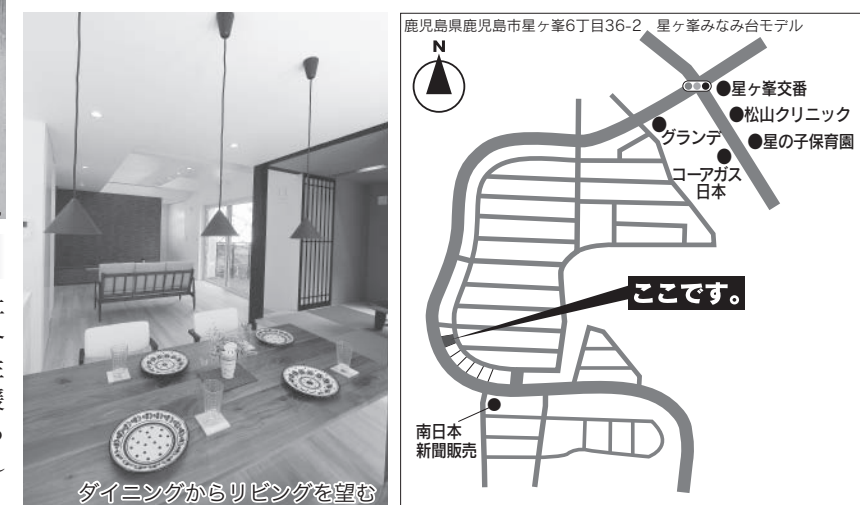


自立循環型「プラス・エネルギー・ハウス」展示場公開中! 星ヶ峯展示場 公開中!



他社の住宅と、是非比較してご覧下さい。違いが分かります!

2020年の省エネルギー義務化を前に、星ヶ峯に出店している各社とも高性能住宅を建てて競っています。この機会をお見逃しなく各社の住宅を体感し、比較してご覧になることをお勧め致します。住宅の性能は体感することで初めて分かります。エアコンによる冷暖房の効き具合や空気質の体感など、様々な部分に気づかれる事があると思います。爽やかな感じのする空調であれば合格点があげられます。是非、体感して比較してみてください。

住宅は躯体構造が最も大事、エアコン1台のシンプルな姿をご覧下さい。 自立循環型住宅 新 川内展示場建築中!



現場の進捗状況に応じて、施工のポイントを解説致します。断熱や気密性能など、完成後は見えなくなってしまう部分もありますから是非、工事中の現場見学をお勧め致します。ご希望の方は、下記フリーダイヤルでお申し込みください。

□住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。

0120-079-089

ひこうき雲

発行所 株式会社 松下孝建設
発行人 松下孝行
編集責任 齋藤恭誠
■本社
〒891-0108
鹿児島市中山1丁目14-29
TEL 099-267-7594
FAX 0120-079-089



待ったなしの環境問題から、もう一度住宅性能を問い直す時代に。動力で快適になる住宅から、エネルギーを必要としない住宅性能への転換。

家庭用エネルギー消費が昔の2倍以上に増加。

我が国のエネルギーを司る資源エネルギー庁の「エネルギー白書2013」が公表されています。その中には、家庭用エネルギーが1960年代以降、世帯当たり消費量は2011年までの間に22倍に増えている実態が明らかになっています。

50年以前と比較するとライフスタイルが変化し、住宅の中には三種の神器といわれた冷蔵庫や洗濯機、テレビは勿論、電子レンジやエアコン、オーブン、食洗機、掃除機、パソコン、ゲーム機など、数えられないほどの家電製品で溢れています。一度利便性を手に入れたら、一度後で、エネルギー消費を削減すると言ふことは、非常に苦痛を伴うことです。

家庭で使用されるエネルギーを削減するために、様々な省エネルギー器具が開発され、テレビなどは年間1万円も電気を消費しないように省エネルギーが実現して

いますが今度は、住宅の個室化でひと部屋に一台の時代になっています。この様に家庭用消費電力が増えていく要因には、住宅の個室化も大きな原因になっているようです。

ルギーで暮らすことが出来たのです。日本の住宅が個室化してきたのは、高度経済成長時代住宅が大きくなった事と受験競争が始まったことが大きな要因になっていったことです。プライバシーや防音対策もありますが、最も大きな要因は個室の寒さ対策で受験勉強中の暖房でした。

なぜ、住宅が個室化したのでしょうか?

住宅の個室化は、住宅の断熱・気密性能に大きな原因があります。住宅性能が悪いと暑さ寒さ対策にも個室冷暖房が必要になってくるため、個室を使用する人数分、冷暖房が必要になります。ここでは、如何に省エネルギーを叫んでもエネルギーは減りません。

50年前の住宅では、リビングの一角に石油やコタツなどの暖房器具があり、そこで家族が全員で暖を取っていました。テレビもリビングで寝るまでの数時間だけ時間が決められて見ただけのような生活でした。従って、現代よりも省エネ

現代の高性能住宅と比較するとその実態が?

現代の高性能住宅は、大きなリビングや吹き抜けを造る住宅が多くなり、特に鹿児島では昔の天井の高い開放型の住宅が根幹で復活して来ているような印象を受けます。

昔は、冬は寒くていられないような住宅ですが、夏は通風や日射遮蔽で実に快適な住宅です。知覧などに残る武家屋敷の印象でしょうか、暖房はいらりエアコン一台の暖房です。それで寒さを感じないと言う

暮らし方ではなく、住まいを見直す時代に!

今までは、省エネルギーといえ、置かれて見直すことに主眼が置かれてきました。確かに節電も重要な要素ではありますが、如何に節電しても住宅の性能が悪ければ、寒さや暑さの不快を我慢することになりますから、子供が風邪を引いたりお年寄り

が病気を発症するなど、健康までも犠牲にしなければならぬ

エネルギーを造るより使わないが先決です!

太陽光発電などの創電設備が安くなるにつれて勘違いしてしまいがちです。それは設備を活用して省エネルギーを実現し、あわよくば売電で儲けようという考え方です。確かに悪くはない考えですが、エネルギーを造って売電するよりも、先に考えなければならぬのは、エネルギー消費が極限まで少なくできる住宅性能です。

大容量の太陽光や創電設備で省エネルギーも売電も可能ですが、設備は壊れますし、更新が必要で、それに比較して高性能住宅は非常にシンプルな性能です。それをしっかりと実現させて本間に全館、冷暖房がほとんど一台(取り付け数が増えます)のエアコンで充分間に合う住宅性能を実感してから設備の取り付けを考えても遅くはありません。

松下孝建設は、最高の住宅性能を目指します。

松下孝建設は、確かな住宅性能に裏打ちされた、本当に暖房エネルギーの削減が可能な住宅性能を目標として、日本の省エネルギー工法を開発します。

赤トンボ

▼各地の梅園では、白梅・紅梅が美しく咲き誇っています。見事な梅林の下には、路の臺や水仙も咲いています。寒い冬も梅の花を見ると一気には春の訪れを感じます。驚の美声も聞こえてきます。

▼原子力発電が主力電源と位置づけられ、再稼働が始まろうとしています。将来の電力供給の青写真を示してくれないので、中々悩ましい部分があります。再稼働するにしても使用する年月を耐用年数で打ち切るとか、そうした説明があれば、未来の発電開発にも通じることが、そうした未来の予測で原子力をどうするか語ってほしいものです。

▼「ひこうき雲」の先月号と先月号で、IPCCの政府間パネル第1作業部会報告書が承認されたことをお伝えしましたが、第2作業部会の報告書は本年3月に横浜で審議されることになっています。

引き続き気候変動の緩和策についての評価を行う、第3部会に関するタスクフォース(各国における温室効果ガス排出量・吸収量の目標に関する計画の運営委員会)報告書などの概要についても、わかり次第お知らせする予定です。

今後とも松下孝建設は、考え得る最高を目指して頑張ります。

